

公益社団法人郡山青年会議所
2016年度 事業報告

年間事業報告	
月日	事業内容
1月4日	新年祈祷 / 場所: 安積国造神社
1月4日	第1回臨時理事会 / 場所: 郡山青年会議所事務局
1月4日	新春賀詞交歓会 / 場所: ホテルハマツ
1月4日	郡山青年会議所OB会総会新年会 / 場所: ホテルハマツ
1月6日	第1回常任理事会 / 郡山青年会議所事務局
1月6日	第2回55周年正副部会長会議 / 郡山青年会議所事務局
1月14日	第1回理事会 / 郡山青年会議所事務局
1月14日	第2回55周年実行委員会 / 郡山青年会議所事務局
1月19日	(公社)郡山青年会議所2016年度新年会 / 場所: 郡山ビューホテル 4階 パラシオ
1月20日	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
1月21日	京都会議(～24日) / 場所: 京都
1月22日	会員会議所会議 / 場所: 京都
1月26日	とめ青年会議所新年式典 / 場所: ホテルサンシャイン佐沼
1月26日	もとみやJC新年会 / 場所: ネーブルシティもとみやaube
1月27日	仙台JC新年式典 / 場所: 江陽ランドホテル
1月27日	第2回財政審査会議 / 場所: 事務局
1月28日	1月例会・定時総会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス 3階 雲水峰
1月29日	白河青年会議所新年会 / 場所: ホテルサンルート白河
1月30日	山形ブロック新年会 / 場所: 山形
1月30日	いわき青年会議所新年会 / 場所: いわきワシントンホテル椿山荘
1月31日	第1回会員会議所会議 / 場所: 福島市
2月1日	第2回常任理事会 / 場所: 事務局
2月1日	第3回55周年正副部会長会議
2月4日	(公社)須賀川青年会議所新年会 / 場所: グランシア須賀川
2月6日	東北ゼミナール委員会開校式 / 場所: エル・パーク仙台
2月7日	2016年度「新春のつどい」 / 場所: ザ・セレクトン福島
2月7日	アカデミー委員会開校式 / 場所: ザ・セレクトン福島
2月7日	新春のつどい大懇親会 / 場所: ザ・セレクトン福島
2月8日	(公社)郡山青年会議所創立55周年キックオフパーティー / 場所: 龍宮城(西ノ内店)
2月9日	上程マニュアル及び会計マニュアル勉強会 / 場所: 事務局
2月12日	第2回理事会 / 場所: 事務局
2月12日	第3回55周年実行委員会/事務局
2月12日	(一社)原町青年会議所新年会 / 場所: ロイヤルホテル丸山
2月16日	第1回OB役員会並びに現役役員との懇談会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
2月17日	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
2月17日	久米賞・百合子賞勉強会 / 場所: 事務局
2月18日	東白川JC新年会 / 場所: 新富家
2月20日	新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー / 場所: ホテル華の湯
2月23日	2月例会並びに郡山未来創造パネルディスカッション開催 / 場所: 郡山市中央公民館 多目的ホール
2月25日	第3回 財政審査会議 / 場所: 事務局
2月26日	男鹿和雄展 オープニングセレモニー&内覧会 / 場所: ビッグパレットふくしま3階 中会議室
2月26日	第1回県南エリア会議 / 場所: 田村市公民館
2月27日	第二楽章 男鹿和雄展～吉永小百合と語り継ぐ～(2/27～3/21) / 場所: ビッグパレットふくしま 3階中会議室
2月27日	男鹿和雄氏ワークショップ開催並びに「未来のわたしたちへ～ほんとの空～」絵画作品募集展示 / 場所: ビッグパレット
2月29日	未来ビジョン策定会議 / 場所: 事務局
3月1日	第3回 常任理事会 / 場所: 事務局
3月1日	第4回55周年正副部会長会議/事務局
3月3日	55周年記念誌 理事長座談会 / 場所: 事務局
3月5日	第2回会員会議所会議 / 場所: 浪江
3月14日	第3回 理事会 / 場所: 事務局
3月14日	第4回55周年実行委員会/事務局
3月16日	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
3月18日	公益法人に関する基本勉強会 / 場所: 郡山中央公民館
3月20日	55周年記念誌復興座談会 / 場所: 事務局
3月21日	3月例会並びに佐々木祐滋氏講演会『世界に伝えるサダコものがたり』 / 場所: ビッグパレットふくしま3階 小会議室
3月21日	第4回財政審査会議 / 場所: 事務局
3月25日	第151回総会 / 場所: 東京ビックサイト
3月26日	久米正雄先生・宮本百合子先生墓参 / 場所: 鎌倉・小平
3月29日	第1回会員拡大会議 / 場所: 郡山JC事務局
3月30日	第2回県南エリア会議 / 場所: 井筒屋
4月1日	第4回常任理事会 / 場所: 事務局
4月1日	第5回55周年正副部会長会議/事務局
4月2日	第3回会員会議所会議 / 場所: いわき
4月13日	第4回理事会 / 場所: 事務局
4月13日	第5回55周年実行委員会/事務局
4月18日	4月例会並びにチェリーパーティー / 場所: 郡山ビューホテルアネックス 4階 花勝見
4月18日	第2回OB役員会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
4月20日	PEP Kids Koriyama 支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
4月20日	「第55回久米賞・百合子賞」実行委員会 第1回委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
4月22日	第5回 財政審査会議 / 場所: 事務局
4月25日	しゃくなげカップ2016チャリティーゴルフコンペ / 場所: 大玉カントリークラブ
4月26日	県南エリア理事長会議 / 場所: 事務局
4月28日	第2回臨時理事会 / 場所: 事務局
4月28日	第5回常任理事会 / 場所: 事務局
4月28日	第6回55周年正副部会長会議/事務局
4月29日	第8回『大昭和祭り』 / 場所: 白河市
5月5日	第51回郡山市こどもまつり / 場所: 開成山公園内開成山球場会議室2・3
5月10日	第3回県南エリア会議 / 場所: 須賀川商工会議所
5月12日	会頭公式訪問 / 場所: 仙台

5月13日	第5回理事会 / 場所: 事務局
5月13日	第6回55周年実行委員会/事務局
5月15日	第4回会員協議所会議 / 場所: 喜多方市
5月18日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
5月18日	第5回久米賞・百合子賞審査委員顔合わせ会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス 4F船津
5月25日	5月例会～スポーツで一致団結! 未来へ向かってGO!GO!アタック!! / 場所: 郡山市総合体育館
5月27日	第6回財政審査会議 / 場所: 事務局
5月29日	わんぱく相撲こおりやま場所 / 場所: 郡山相撲場
5月29日	(一社)もとみや青年会議所創立30周年記念式典 / 場所: サンライズもとみや ネーブルシティーもとみやオーブ
5月30日	第2回会員拡大会議 / 場所: 事務局
6月1日	第6回常任理事会 / 場所: 事務局
6月1日	第7回55周年正副部会長会議/事務局
6月3日	A S P A C 台湾～5日 / 場所: 高雄
6月7日	第5回県南エリア会議 / 場所: 大黒屋
6月11日	第19回わんぱく相撲福島ブロック大会 / 場所: 会津坂下町立坂下東小学校内土俵
6月12日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加 / 場所: 郡山駅前西口広場
6月12日	第5回会員協議所会議 / 場所: 二本松
6月13日	第6回 理事会 / 場所: 事務局
6月13日	第7回55周年実行委員会/事務局
6月15日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
6月17日	第8回55周年実行委員会 / 場所: 事務局
6月19日	55周年記念式典
6月24日	第7回財政審査会議 / 場所: 事務局
6月24日	6月例会並びに久米川和行氏講演会開催 / 場所: 郡山公会堂
6月25日	会津JC創立65周年記念式典 / 場所: ルネッサンス中の島
6月26日	第6回県南エリア会議 / 場所: 東白川
7月1日	第7回 常任理事会 / 場所: 事務局
7月1日	第8回55周年正副部会長会議/場所: 事務局
7月2日	第6回会員協議所会議 / 場所: 原町
7月3日	第46回ブロック大会in原町 / 場所: 原町
7月5日	第1回OB元気会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
7月8日	中間監査 / 場所: 事務局
7月9日	スマイルサマーキャンプ～郡山ワクワクお仕事見学～参加者事前説明会 / 場所: ニコニコ子ども館研修室
7月9日	田村JC創立35周年記念式典 / 場所: 迎賓館 辰巳屋
7月12日	第7回理事会 / 場所: 事務局
7月12日	第8回55周年実行委員会/場所: 事務局
7月16日	サマーコンファレンス / 場所: 横浜
7月20日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: 場所: PEP Kids Koriyama
7月20日	マイナンバー制度に関する勉強会 / 場所: 事務局
7月22日	みんなでわくわく!こおりやま みらい☆シティ参加団体説明会 / 場所: ニコニコ子ども館研修室
7月22日	第8回財政審査会議 / 場所: 事務局
7月23日	7月例会並びに田丸雅智氏ワークショップ / 場所: 労働福祉会館2階中ホール
7月26日	スマイルサマーキャンプ～郡山ワクワクお仕事見学～ / 場所: 郡山市内
7月28日	第8回常任理事会 / 場所: 事務局
7月28日	第9回55周年正副部会長会議/場所: 事務局
7月31日	第31回わんぱく相撲全国大会 / 場所: 両国国技館
8月6日	郡山うねめまつり2016 奈良JC来郡 奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し(葛城王 奈良JC理事長 中本政)
8月9日	第8回理事会 / 場所: 事務局
8月9日	第9回55周年実行委員会/場所: 事務局
8月17日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: 場所: PEP Kids Koriyama
8月20日	ワクワク!キッズチャレンジ～知恵を振り絞れ!みんなが引き出すチームの力～ / 場所: ビッグパレットふくしま3階中会
8月21日	8月例会並びに和合亮一氏講演会開催 / 場所: 安積歴史博物館
8月19日	第9回財政審査会議 / 場所: 事務局
8月24日	第55回「久米賞百合子賞」第1次審査 読み合わせ会 / 場所: 事務局
8月27日	公益法人に関する勉強会 / 場所: 郡山中央公民館
8月29日	第9回常任理事会 / 場所: 事務局
8月29日	第10回55周年正副部会長会議/場所: 事務局
9月2日	東北青年フォーラムin水の里とめ / 場所: 宮城県登米市
9月6日	第7回県南エリア会議 / 場所: 田村
9月9日	第9回 理事会 / 場所: 事務局
9月9日	第10回55周年正副部会長会議/場所: 事務局
9月10日	第7回会員協議所会議 / 場所: 郡山市
9月15日	奈良公式訪問 / 場所: 奈良市
9月20日	9月例会並びに定時総会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス 4階 花勝負
9月21日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
9月24日	みんなでわくわく!お仕事体験 こおりやまみらい☆シティ / 場所: 開成山公園自由広場
9月26日	「第55回久米賞・百合子賞」実行委員会 第2回委員会 / 場所: 郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
9月28日	第10回財政審査会議 / 場所: 事務局
10月3日	第3回臨時理事会 / 場所: 事務局
10月3日	第10回常任理事会 / 場所: 事務局
10月3日	第11回55周年正副部会長会議/場所: 事務局
10月6日	第65回全国大会 広島大会 / 場所: 広島市
10月13日	第10回理事会 / 場所: 事務局
10月13日	第11回55周年実行委員会/場所: 事務局
10月16日	第8回会員協議所会議 / 場所: 会津若松市
10月17日	10月例会並びに中川悠介氏講演会 / 場所: 郡山市中央公民館 多目的ホール
10月19日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所: PEP Kids Koriyama
10月22日	第55回全国会員大会郡山大会10周年記念式典並びに懇親会 / 場所: 郡山ビューホテル 4階 パラシオ
10月25日	第55回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所: 郡山ビューホテルアネックス
10月26日	「こおりやま みらい☆シティ」参加団体 大懇親会 / 場所: ビューホテルアネックス SPOON
10月27日	第11回財政審査会議 / 場所: 事務局
10月30日	5感で楽しむこおりやま風土フェスタ2016 / 場所: 郡山駅前西口広場及び駅前アーケード

10月30日	10月市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加 / 場所：郡山駅前西口広場及び駅前アーケード
11月1日	第11回常任理事会 / 場所：事務局
11月1日	第12回55周年正副部長会議/場所：事務局
11月14日	第11回理事会 / 場所：事務局
11月18日	第12回55周年実行委員会/場所：事務局
11月19日	第2回OB元気会 / 場所：郡山ビューホテル 4階 パラシオ
11月22日	11月例会並びに第55回「久米賞・百合子賞」授賞式 / 場所：郡山市労働福祉会館 3階大ホール
11月25日	県南6JCエリア会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
11月25日	第12回財政審査会議 / 場所：事務局
11月27日	福島ブロック協議会2016年度「卒業式」 / 場所：パルセいいざか
12月1日	第12回常任理事会 / 場所：事務局
12月1日	第13回55周年正副部長会議/場所：事務局
12月2日	会員会議所会議 / 場所：岩手県盛岡市
12月10日	12月臨時総会、12月例会、卒業式、送別会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 4階 山桜
12月12日	第55回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会 / 場所：郡山市市役所西庁舎5階5-1-1会議室
12月13日	第12回理事会 / 場所：サウススクエア 第1会議室
12月13日	第13回55周年実行委員会/場所：事務局
12月27日	第13回財政審査会議 / 場所：事務局
1月10日	監査 / 場所：事務局
1月12日	第13回常任理事会 / 場所：事務局
1月12日	第13回理事会 / 場所：事務局

公益社団法人郡山青年会議所 2016年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	07日 委員会の開催（第1回） 15日 委員会の開催（第2回） 文書発送 19日 新年会開催 20日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 28日 1月例会・定時総会開催	13日 委員会の開催（第1回） 20日 委員会の開催（第2回）
2月	03日 委員会の開催（第3回） 07日 新春の集い引率 15日 委員会の開催（第4回） 文書発送 17日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 23日 2月例会開催	10日 委員会の開催（第3回） 18日 委員会の開催（第4回） 20日・21日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）
3月	04日 委員会の開催（第5回） 15日 委員会の開催（第6回） 文書発送 21日 3月例会開催	04日 委員会の開催（第5回） 16日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 23日 委員会の開催（第6回） 29日 会員拡大会議の開催（第1回）
4月	04日 委員会の開催（第7回） 15日 委員会の開催（第8回） 文書発送 18日 4月例会開催	05日 委員会の開催（第7回） 14日 委員会の開催（第8回） 18日 4月例会並びにチェリーパーティーの開催 20日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 21日 委員会の開催（第9回）
5月	02日 委員会の開催（第9回） 16日 委員会の開催（第10回） 文書発送 25日 5月例会開催～スポーツで一致団結！未来へ向かってGO!GO!アタック!!～開催	02日 委員会の開催（第10回） 24日 委員会の開催（第11回） 30日 会員拡大会議の開催（第2回）
6月	03日 委員会の開催（第11回） 15日 委員会の開催（第12回） 文書発送 24日 6月例会開催	03日 委員会の開催（第12回） 21日 委員会の開催（第13回） 24日 6月例会並びに久米川和行氏講演会の開催 29日 委員会の開催（第14回）
7月	04日 委員会の開催（第13回） 14日 委員会の開催（第14回） 文書発送 23日 7月例会開催	05日 OB元気の会の開催（第1回） 06日 委員会の開催（第15回） 20日 委員会の開催（第16回）
8月	01日 委員会の開催（第15回） 05日 奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し参加開催 17日 委員会の開催（第16回） 文書発送 21日 8月例会開催 31日 委員会の開催（第17回）	01日 委員会の開催（第17回） 23日 委員会の開催（第18回）
9月	14日 委員会の開催（第18回） 文書発送 15日～16日 奈良公式訪問開催 20日 9月例会並びに定時総会開催	03日・04日 東北青年フォーラムin水の里とめ引率 08日 委員会の開催（第19回）
10月	05日 委員会の開催（第19回） 14日 委員会の開催（第20回） 文書発送 17日 10月例会開催	04日 委員会の開催（第20回）
11月	04日 委員会の開催（第21回） 17日 委員会の開催（第22回） 文書発送 19日 11月例会開催	02日 委員会の開催（第21回） 15日 委員会の開催（第22回） 18日 OB元気の会の開催（第2回）
12月	02日 委員会の開催（第23回） 10日 12月臨時総会 12月例会並びに卒業式開催 19日 委員会の開催（第24回） 26日 委員会の開催（第25回）	08日 委員会の開催（第23回） 28日 委員会の開催（第24回）

公益社団法人郡山青年会議所 2016年度 各委員会月別報告書 No.2

	広報渉外委員会	青少年育成委員会
1月	12日 委員会の開催(第1回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌1月号の発行	12日 委員会の開催(第1回) 21日 委員会の開催(第2回) 21日～24日 京都会議引率
2月	05日 委員会の開催(第2回) ◎ホームページの企画・運営・管理 20日・21日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施(室合同)	03日 委員会の開催(第3回) 05日 委員会の開催(第4回) 18日 委員会の開催(第5回) 26日 男鹿和雄展 オープニングセレモニー&内覧会設営 27日～3月21日 第二楽章 男鹿和雄展開催設営 27日 男鹿和雄氏ワークショップ開催並びに「未来のわたしたちへ～ほんとの空～」絵画作品募集展示設営
3月	09日 委員会の開催(第3回) ◎ホームページの企画・運営・管理	07日 委員会の開催(第6回) 08日 委員会の開催(第7回) 21日 3月例会並びに佐々木祐滋氏講演会開催設営 29日 委員会の開催(第8回)
4月	05日 委員会の開催(第4回) 21日 委員会の開催(第5回) ◎ホームページの企画・運営・管理	05日 委員会の開催(第9回) 15日 委員会の開催(第10回) 18日 委員会の開催(第11回) 28日 委員会の開催(第12回)
5月	10日 委員会の開催(第6回) 18日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 26日 委員会の開催(第7回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌5月号の発行	02日 委員会の開催(第13回) 05日 「第51回郡山市こどもまつり」への参加・設営 12日 委員会の開催(第14回) 26日 委員会の開催(第15回) 29日 わんぱく相撲郡山場所開催
6月	03日 委員会の開催(第8回) 15日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 23日 委員会の開催(第9回) ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第16回) 11日 第19回わんぱく相撲福島ブロック大会郡山場所設営 21日 委員会の開催(第17回)
7月	07日 委員会の開催(第10回) ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第18回) 14日 委員会の開催(第19回) 20日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 22日 こおりやま みらい☆シティ参加団体説明会開催 26～27日 スマイルサマーキャンプ～郡山ワクワクお仕事見学～ 31日 第31回わんぱく相撲全国大会引率
8月	02日 委員会の開催(第11回) 18日 委員会の開催(第12回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎8月例会企画・設営 ◎広報誌8月号の発行	02日 委員会の開催(第20回) 17日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 18日 委員会の開催(第21回) 21日 委員会の開催(第22回) 23日 委員会の開催(第23回)
9月	05日 委員会の開催(第13回) 21日 委員会の開催(第14回) ◎ホームページの企画・運営・管理	07日 委員会の開催(第24回) 14日 委員会の開催(第25回) 24日～25日 こおりやまみらい☆シティ 開催設営
10月	05日 委員会の開催(第15回) 24日 委員会の開催(第16回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎全国大会への引率	20日 委員会の開催(第26回) 26日 こおりやま みらい☆シティ参加団体 大懇親会開催設営
11月	15日 委員会の開催(第17回) ◎ホームページの企画・運営・管理	09日 委員会の開催(第27回) 22日 委員会の開催(第28回)
12月	05日 委員会の開催(第18回) ◎ホームページの企画・運営・管理 19日 第24回委員会開催 ◎広報誌12月号の発行	09日 委員会の開催(第29回) 19日 委員会の開催(第30回)

公益社団法人郡山青年会議所 2016年度 各委員会月別報告書 No.3

	教育開発委員会	まちづくり特別 委員会
1月	12日 委員会の開催（第1回） 21日 委員会の開催（第2回）	07日 委員会の開催（第1回） 26日 委員会の開催（第2回）
2月	05日 委員会の開催（第3回） 15日 委員会の開催（第4回） 17日 久米賞・百合子賞勉強会 22日 委員会の開催（第5回） 26日 男鹿和雄展 オープニングセレモニー&内覧会設営 27日～3月21日 第二楽章 男鹿和雄展開催設営	03日 委員会の開催（第3回） 18日 委員会の開催（第4回） 23日 2月例会並びに郡山未来創造パネルディスカッション開催
3月	02日 委員会の開催（第6回） 15日 委員会の開催（第7回） 27日 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参引率 30日 委員会の開催（第8回）	03日 委員会の開催（第5回） 08日 委員会の開催（第6回） 23日 委員会の開催（第7回）
4月	06日 委員会の開催（第9回） 11日 委員会の開催（第10回） 16日 委員会の開催（第11回） 20日 委員会の開催（第12回） 20日 第55回久米賞・百合子賞 実行委員会第1回委員会	04日 委員会の開催（第8回） 19日 委員会の開催（第9回）
5月	04日 委員会の開催（第13回） 11日 委員会の開催（第14回） 17日 委員会の開催（第15回） 17日 第55回久米賞・百合子賞審査委員顔合わせ会	11日 委員会の開催（第10回） 12日 委員会の開催（第11回）
6月	11日 委員会の開催（第16回） 22日 委員会の開催（第17回） 29日 委員会の開催（第18回）	06日 委員会の開催（第12回） 12日 6月市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加 22日 委員会の開催（第13回） 30日 委員会の開催（第14回）
7月	02日～ 3日 ブロック大会引率（原町） 07日 委員会の開催（第19回） 23日 7月例会並びに田丸雅智氏ワークショップ	14日 委員会の開催（第15回） 16日・17日 2016年度サマーコンファレンス引率 20日 委員会の開催（第16回）
8月	03日 委員会の開催（第20回） 09日 委員会の開催（第21回） 18日 委員会の開催（第22回） 20日 ワクワク！キッズチャレンジ開催 23日 委員会の開催（第23回） 26日 第55回「久米賞・百合子賞」第1次審査読み合わせ会	05日 委員会の開催（第17回） 17日 委員会の開催（第18回） 25日 委員会の開催（第19回）
9月	05日 委員会の開催（第24回） 21日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 25日 委員会の開催（第25回） 26日 「第55回久米賞・百合子賞」実行委員会2回委員会	05日 委員会の開催（第20回） 08日 委員会の開催（第21回） 23日 委員会の開催（第22回） 30日 委員会の開催（第23回）
10月	11日 委員会の開催（第26回） 19日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 25日 委員会の開催（第27回） 25日 第55回「久米賞・百合子賞」最終審査会	05日 委員会の開催（第24回） 14日 委員会の開催（第25回） 17日 10月例会並びに中川悠介氏講演会 20日 委員会の開催（第26回） 24日 委員会の開催（第27回） 30日 五感で楽しむこおりやま風土フェスタ2016開催 30日 10月市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加
11月	09日 委員会の開催（第28回） 09日 第55回「久米賞・百合子賞」授賞式・記者発表 19日 11月例会並びに第55回「久米賞・百合子賞」授賞式	07日 委員会の開催（第28回） 16日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 21日 委員会の開催（第29回） 30日 委員会の開催（第30回）
12月	7日 委員会の開催（第29回） 13日 第55回「久米賞・百合子賞」実行委員会 第3回委員会	06日 委員会の開催（第31回） 14日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 26日 委員会の開催（第32回）

2016年度 総務委員会

委員長 長井 勝義

副委員長 川村 憲司 石田 慶幸 伊藤 和樹

★委員会スローガン

かん ぷ ふう どう
感 孚 風 動

～すべてはこのまちの幸せのために～

★ 事業方針

我々、郡山青年会議所は明るい豊かな社会の実現に向けて日々活動をしている。総務委員会は郡山青年会議所がまちづくり、ひとづくりに邁進出来るようにLOMの要として支え続けて来た。そして、夢や希望を胸に郡山青年会議所の門をたたき、入会した新入会員たちとスタッフが共に活動、運動を行い、成長を図る委員会でもある。

明るい豊かな社会とはこのまちの幸せと考え、その実現のためには郡山青年会議所が行う事業に積極的に参加し、その活動の根底にあるひとづくり、まちづくりの精神を学び、それを市民へ発信できる人財へと育てることが必要である。新入会員にとって入会初年度の大切な1年だからこそJC3信条の「修練」・「奉仕」・「友情」をしっかりと理解しながら例会の設営や庶務に関する業務を行い、遠征事業、現役会員やOB会会員の先輩方との交流、姉妹JCである奈良青年会議所との交流、各種事業へ積極的に参加をする事によって、郡山青年会議所らしいおもてなしの心や先輩たちが築いてきた歴史と伝統を学ぶことが出来る。また、教育するスタッフも今一度郡山青年会議所のあるべき姿を考え行動し、新入会員の見本となるべく自己研鑽に努め総務委員会の志を1つにし、郡山青年会議所の活動、運動を支えていく。

それらを経験することによって多くの気づきと学びを得、1年を通じて一人ひとりが人の心に感動を与え、感化させることができるような地域のリーダーに相応しい人財へ成長することが出来る。それがひとづくりからまちづくりへと繋がり、郡山青年会議所の更なる発展、そしてすべてはこのまちの幸せのために、明るい豊かな社会の実現に近づくことが出来る。

★ 事業計画

〔開催月〕

1. 新入会員の教育・指導
2. 例会の設営
3. 新年会の設営
4. 定時総会の設営
5. 5月例会の企画運営

〔通年〕
〔通年〕
〔1月〕
〔1月・9月〕
〔5月〕

- 6. うねめまつり参加引率 [8月]
- 7. 奈良公式訪問 [9月]
- 8. 卒業式の企画運営 [12月]
- 9. 文書発送作業 [毎月15日]
- 10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務
- 11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成
- 12. 会員拡大に関する情報収集 [通年]
- 13. その他理事長所信に基づき行なう事業

1. 新入会員の教育・指導

年間を通じて新入会員には様々な経験を通して、本人たちの成長に繋げる事が出来た。18名という多くのメンバーでのスタートとなり意識の統一も難しい局面が数多くあったが、全員一丸となりJC運動に取り組むことができた。

2. 例会の設営

① 1月例会の設営

1月例会は2016年度初めての例会ということもあり、総務委員会も緊張感をもって設営に取り組んだ。青木理事長より「いざ漕ぎ出そう！未来が広がる大海原へ～英知と勇気と情熱がひととまちを変革する～」のスローガンのもと、一年間の方針についてご挨拶をいただき、あらためてLOMが一致団結して邁進していかなければならないと実感した。会務報告では各委員長より今年一年の方針や委員会スローガンと委員長の想いが発表され、とても充実した例会となった。

② 2月例会の設営

2月例会は新入会員にとって初めての設営だったが、リハーサルも含めて緊張感をもちながら元気にセレモニーを行い、大きなミスもなく無事に設営することができた。また、郡山未来創造パネルディスカッションではパネリストから様々な郡山の地域の魅力を聴くことができ、我々の活動、運動のヒントを得ることができた。しかしながら動員の部分で対外的な動員に問題が生じてしまった。反省すべきところはしっかりと反省し、検証し、改善して今後の我々の活動、運動に反映していかなければならないと痛感した例会講演会となった。

③ 3月例会の設営

3月例会は男鹿和雄展の最終日となり、ビッグパレットふくしまにて開催された。慣れない会場での設営ではあったが現調とリハーサルを確実にを行うことによって、新入会員も元

気にセレモニーを行い、設営をすることができた。また、佐々木祐滋氏の講演会では折り鶴に込められた郡山とのつながり、命の尊さ、他者を思いやる心などをお話いただき、参加者も心に響き、涙する方もいらっしやった。そんな素晴らしい講演会だったゆえに一般の動員に関しては我々自身も内容を把握して当事者意識をもって募集することが必要だと感じた例会であった。

④ 4月例会の設営

4月例会・チェリーパーティーは、OB会会員の皆様と親睦を深める重要な場であり、新入会員を含め、現役メンバーは6月19日の郡山青年会議所創立55周年式典・祝賀会に向けてのアドバイスや今後のJC運動について様々なお話をいただくことができ、有意義な4月例会・チェリーパーティーとなった。

⑤ 5月例会の設営

5月例会はバレーボールという手法でスポーツを通じ、メンバーが創立55周年記念式典・祝賀会へ向けて一致団結し、意識高揚できるように開催した。その中で、メンバー間のかけ声やチームプレーが生まれ、試合を重ねていくうちに全体に一体感がでた。また、珍プレーや好プレーなどもあり、楽しくスポーツを行うことができ、リフレッシュにもなったと実感している。多くの皆様のご参加とご協力のお陰をもって、怪我もなく無事に5月例会を開催できた。

⑥ 6月例会の設営

6月例会は100%達成例会を目指し開催されたが、結果は98%の出席となり、目標達成することはできなかったが、本年度半年が経過する中で最多の出席となった。その後の久米川和行氏の講演会にも多くのメンバーにご参加いただき、講演を聴くことができた。LOMが今後どうあるべきか、組織として、個の担いや考えた方など様々なお話をいただき、今後のJC活動にすぐ実践的に活用できる内容であった。新入会員候補者に今回得た気づきや学びを活かした話をメンバー一人ひとりができるようベクトルを一致させ、当事者意識をもって会員の拡大に繋げていきたい。

⑦ 7月例会の設営

7月例会並びに田丸雅智氏ワークショップは楽しく文学にふれることで、中学生の発想力と創造力を引き出し、文学に興味を持つきっかけの場となり、久米賞・百合子の継承発展の機会にもなった。また、7月例会では多数のOBの先輩方を迎え、例会のセレモニーや各種報告を緊張感を持ちながら行った。その中で、橋本裕次年度理事長候補者の当選証書授与式を厳格にとり取り計らうことができ、後半の例会もしっかりと運営して行かなければならないと決意した7月例会となった。

⑧ 8月例会の設営

8月例会は本年度も半年が経過し後半に入った中で、準備が慣れてきたところでの設営ミスなどが目立ち、気の緩みが出てしまった。毎回行うリハーサルの必要性や現地調査の重要性をしっかりと理解し、取り組まなければならなかった。また、講演会では和合亮一氏による「コトバのチカラ ～想像力と創造力～」と題し、心に響く素晴らしい講演会となり参加者を魅了した。そんな中での例会設営は反省が残り、反省すべき点はしっかりと反省し、改善して今後に活かさなければならぬと痛感した例会となった。

⑨ 9月例会の設営

9月例会は、8月例会の反省点を活かし、セレモニーも元気よく、緊張感を持って設営することができた。9月定時総会では定款の変更、2016年度の補正予算、2017年度役員候補者選任などの重要な議案が承認され、2017年度に向けスタートを切ることができた。総務委員会として一人ひとりが己を律し、今回得た気付きと学びを活かし、2016年度の担いを最後まで全うし、2017次年度が素晴らしいものになるよう繋げていきたい。

⑩ 10月例会の設営

10月例会は2月例会と同じ会場ということもあり前回の気付きを反映し、少しでもタイムロスを減らし講演会に繋がりたいという思いからセレモニーを新たな試みとして最初に担当者が全員登壇する日本青年会議所のセレモニー方式と同じように行った。新たな取り組みを行うことによってリハーサルもより真剣に集中して行い、緊張感をもって例会を設営することができた。

⑪ 11月例会の設営

11月例会は本年度初めて使用する労働福祉会館3階大ホールであったため、事前に現調し、リハーサルを入念に行いスムーズに例会を設営することができた。新入会員も、セレモニーを担当する最後の例会だったこともあり、緊張感を持って取り組んだ。しかしながら授賞式においては受付やお出迎えの対応の不備など打ち合わせ不足もありご迷惑をおかけした。担当委員会の教育開発委員会と授賞式も踏まえた役割分担や打ち合わせを合同委員会で事前にしっかりと確認する必要がある。この反省をしっかりと次年度に引き継ぎより良い例会設営に活かしたい。

⑫ 12月例会の設営

12月例会は青木理事長から本年度を振り返り感謝のお言葉を頂き、各委員長、出向者の皆様から集大成として一年間を振り返り締めくくる場となった。そしてバッジ交換、プレジ

デンシャルリースの伝達を行う事ができ、青木誠理事長から橋本裕理事長へ継承され、気持ち新たに2017年度に繋がる12月例会となった。

3. 新年会の設営

新年会は多くのご来賓をお迎えして2016年度青木理事長体制を披露し、郡山青年会議所の運動方針を対外的に発信することができた。メンバーの皆様一人ひとりが郡山青年会議所らしいおもてなしの心をもってご対応をいただいたお陰で、新年会を盛会に開催することができた。

4. 定時総会の設営

① 1月定時総会

1月定時総会は 清水 進一郎 議長、阿久津 圭亮 副議長の議事進行のもと2015年度の事業報告、決算の重要な議案を皆様にご協力いただきスムーズに進行し審議いただく事ができた。総会資料は事前に何度も確認したが、それでも細部にミスがあった事からも、しっかりと確認する事の重要性を痛感した定時総会となった。

② 9月定時総会

9月定時総会は今野 辰哉 議長、石川 恭世 副議長のもと定款の変更、2016年度の補正予算、2017年度役員候補者選任などの重要な議案が承認され、2017年度に向けスタートを切ることができた。

③ 12月臨時総会

12月臨時総会は、今泉 壮規 議長、今野 辰哉 副議長のもと2017年度に関する方針・予算などの重要議案が可決承認された。準備段階で委任状の提出など早期に対応しており臨時総会はスムーズに開催することができた。

5. 5月例会の企画運営

5月例会はバレーボールという手法でスポーツを通じ、メンバーが創立55周年記念式典・祝賀会へ向けて一致団結し、意識高揚できるように開催した。その中で、メンバー間のかけ声やチームプレーが生まれ、試合を重ねていくうちに全体に一体感がでた。また、珍プレーや好プレーなどもあり、楽しくスポーツを行うことができ、リフレッシュにもなったと実感している。多くの皆様のご参加とご協力のお陰をもって、怪我もなく無事に5月例会を開催できた。

6. うねめまつり参加引率

当日はエクスカッション、踊り流し、懇親会、二次会の設営を新入会員もおもてなしの心

を持って取り組んだ。奈良ＪＣの皆様と有意義な時間を過ごす中で、姉妹ＪＣとして４２年続くこの固い絆は今後も永続していかなければならないと実感した。細かい設えの不備もあったが、多くのメンバーのご参加とご協力により奈良ＪＣの皆様と郡山のうねめまつりを盛り上げ、友情を構築し無事に本事業を開催する事ができた。

7. 奈良公式訪問

当日は奈良ＪＣの皆様には昼食会から国宝が多数展示してある興福寺見学を始めとする様々なエクスカージョンを設えていただき、奈良の歴史や魅力を学び、有意義な時間を過ごすことができた。そして、采女祭では花扇奉納行列や神事への参加、中秋の名月も無事に見る事ができ、新入会員にとっても郡山のうねめまつりとまた違った、奈良の采女祭を堪能することができた。また、懇親会においても奈良ＪＣの皆様には様々なアトラクションを設えていただき楽しい時間を共に過ごし、更なる友情を深めることができた。

8. 卒業式の企画運営

卒業式はご卒業生に今までの労をねぎらい感謝の気持ちをもって総務委員会一同設営に取り組んだ。ご卒業生から想いの丈を述べていただき、今後も現役メンバー一同しっかりとＪＣ運動、活動に取り組んで行かなければならないと再確認する機会を得る事ができた。総務委員会一丸となってリハーサルや準備をしてきたが当日の担当役割が十分に機能せず、設営で至らない点が多々あり時間もだいぶおしてしまった。今後のことも考慮し、会場側にご迷惑をかけるわけにいかず、送別会は時間をまいて急ぎ足の運営となってしまった。

9. 文書発送作業

毎月１５日を基本とし現役会員、ＯＢ会会員に事業案内等の文書、広報誌等を発送した。

10. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会、理事会の会議の設営、議事録作成を行なった。

11. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員名簿、名刺の作成を行なった。

12. 会員拡大に関する情報収集

総務委員会として、新入会員を中心に次年度新入会員候補者の掘り起しまた、声掛けなど積極的に会員拡大会議へ年間を通して参加した。

13. その他理事長所信に基づき行なう事業

新入会員は例会の設営や庶務に関する業務から基本を学び、事業を通じてまちづくり、ひと

づくりを学び地域のリーダーに相応しい人財となるべくJAYCEEとして成長する事ができた。同時に教育するスタッフも、今一度郡山青年会議所のあるべき姿を考え実践し、新入会員の見本となるべく自己研鑽に努め共に成長する事ができた。また、本年は（公社）郡山青年会議所創立55周年記念式典そして第55回全国会員大会郡山大会10周年記念式典並びに懇親会があり、準備段階から当日の設営まで様々な担いを全うする事ができた。

感孚風動～すべてはこのまちの幸せのために～のスローガンのもと1年間JC運動、活動に邁進してきた。新入会員、そしてスタッフもこの2016年度の総務委員会を自ら体感し経験したことによって様々な気づきと学びを得たと実感している。この経験を次年度以降にも活かしていただき実りのあるJC運動、活動に繋げてほしい。それが将来一人ひとりがJAYCEEとして更なるリーダーシップをとり、率先して行動して人を感化し感動できるような人財になると確信している。明るい豊かな郡山、笑顔が溢れる郡山、そしてすべてはこのまちの幸せのために委員会メンバー一同今後も邁進していくことをお誓いし、挨拶とさせていただきます。最後にこのような貴重な機会を与えてくださった青木理事長、そして橋本専務に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

2016年度 会員開発委員会

委員長 : 二瓶 一嘉
副委員長 : 鈴木 純一
★委員会スローガン

原点回帰

～同志の輪を拓げるために～

★ 事業方針

郡山の明るい豊かな社会の実現のためには、現役会員一人ひとりが郡山青年会議所の魅力を語り伝えられる人財になることが必要である。そのためには、自己の資質向上に取り組みその魅力を伝え、これからの郡山の未来を考え行動する同志を一人でも多く増やすことが必要不可欠である。

そのためには現役会員がOB諸先輩と積極的に交流を図り、56年の長きにわたり受け継がれてきた歴史と伝統の重みを感じ、一人ひとりが入会時の想い描いた初心に立ち返り、JC運動・活動の意義を見つめ直す。また、会員の資質向上セミナーを通じて自発的意識の醸成を図るべく、熱い情熱、自覚や誇りを持ち率先して行動するリーダーを育成していく。さらには、会員拡大に使用するツールや手法を速やかに検証・作成・実施し、会員拡大の重要性をLOMメンバーへ伝え共通認識を持ち会員拡大へと繋げる。その中で、これまで以上に当事者意識を持ち、多くの同志と助け合い、共に歩むことで青年会議所の魅力を感じ伝える事でこれからの郡山の未来を考え行動する同志の輪を拓げていく。

これらの運動・活動を通じて意識変革を行い、郡山青年会議所の魅力を語り伝えられる人財となり郡山青年会議所メンバーとして自信と誇りを持ち、志ある仲間の輪を拓げ、郡山のひととまちを革新し明るい豊かな社会を実現する。

★ 事業計画

[開催予定月]

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1. 新入会員オリエンテーション並びに会員開発セミナーの実施 (室合同) | [2月] |
| 2. 4月例会 (チェリーパーティー) の企画運営 | [4月] |
| 3. 6月例会並びに資質向上セミナーの企画運営 | [6月] |
| 4. 東北青年フォーラム引率 | [9月] |
| 5. OB会会員との交流会 | [通年] |
| 6. 会員拡大会議 | [通年] |
| 7. 会員拡大及び取りまとめ | [通年] |
| 8. その他理事長所信に基づき行う事業 | [通年] |

参考：会員募集スケジュール

※面接等は随時対応する。

- | | |
|-----------|--|
| 2015. 12月 | 15年度新入会員候補者リストの精査 |
| 2016. 1月 | 年間目標・月別目標の設定、拡大マニュアルの作成、現役メンバーへ候補者紹介のご依頼 |
| 2016. 2月 | 候補者リストの作成、個別面談 |
| 2016. 3月 | 候補者リストの作成・更新、個別面談 |
| 2016. 4月 | 候補者リストの作成・更新、個別面談 |
| 2016. 5月 | 候補者リストの作成・更新、個別面談 |
| 2016. 6月 | 候補者リストの作成・更新、個別面談 |
| 2016. 7月 | 個別面談、面接説明会準備 |
| 2016. 8月 | 個別面談、面接説明会実施、面接実施 |
| 2016. 9月 | 個別面談、面接説明会実施、面接実施 |
| 2016. 10月 | 個別面談、面接説明会実施、面接実施 |
| 2016. 11月 | 個別面談、面接説明会実施、面接実施 |
| 2016. 12月 | 面接説明会実施、面接実施、リスト精査 |

★ 事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）

人間力セミナーでは第46代理事長を務められた石橋秀郎先輩を講師にお迎えし、JCと仕事の両立や組織運営で気をつけたことを自身の体験談を交えてご講演いただいた。例年と違う設えとしてロバート議事法サポートセミナーを行った。入会3年未満のメンバーが半数近くを占め、入会2年目、3年目の理事が増えたことから会議をスムーズに行うために委員会メンバーでロバート議事法を勉強し、ロバート議事法のサポートセミナーを実施した。ロバート議事法サポートセミナーで学んだことを模擬理事会にて体験していただき、楽しくロバート議事法を学んでいただけたと思う。新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーを通じて新入会員は青年会議所の歴史や伝統、活動意義を学び、現役会員においては活動意義を再認識し新入会員と交流することにより初心を思い出していただけたと思う。

2. 4月例会（チェリーパーティー）の企画運営

チェリーパーティーにおいては、本年創立55周年記念式典・祝賀会を開催するにあたり、多くの周年記念を経験されてきたOB会会員の先輩方から知恵や知識をいただくために、個別に電話連絡にてご連絡し多くのOB会会員の先輩方にお越しいただけた。OB会会員の先輩方と現役会員が交互に着座し、食事を取りながら過去の周年映像を観覧し、創立55周年記念式典・祝賀会に向けてアドバイスをすることができ創立55周年記念式典・祝賀会にむけて心一つにすることができた。また、会場に桜の花の設えをはじめ、乾杯用ドリンクなどチェリーパーティーの名に相応しい設えをすることができた。

3. 6月例会の企画運営

6月例会においては100%達成例会として臨ませていただいたが、残念ながら100%例会達成には至らなかった。しかし、普段より多くの現役会員に出席いただき一人ひとりの意識の高さを実感することができた例会であった。講演会においては、日本青年会議所東北地区協議会2014年度会長を務められた久米川和行先輩を講師にお迎えし、「JCの活動意義～行動なくして成長なし～」の演題でご講演いただいた。久米川先輩の講演会を拝聴し、ポジティブに考える大切さや諦めない気持ちを持つ大切さを学び、現役会員の当事者意識を再認識する良い機会となった。

4. 東北青年フォーラム引率

東北青年フォーラム in 水の里とめ大会においては、成田会務担当副会長をはじめ多くの出向者支援を行うために、現役会員のご理解を得て全員登録いただき感謝申し上げます。メインフォーラムやゼミナール委員会発表では人と地域の連携を軸にした新たな東北の魅力を見出し、活力ある強い東北を構築するには、地域の組織力や地域を牽引するリーダーシップが必要不可欠であることを学ぶことができた。とめの風土や伝統に触れ、先人の他を思いやる結の精神・利他の精神を感じることができ東北は一つを体感できた遠征事業であった。多くの現役会員の登録・参加いただき深く感謝申し上げます。

5. OB会会員との交流会

本年は、全てのOB会会員の先輩方を対象とし多くの先輩方にお越しいただけるように、名称を変更し7月と11月の2回開催させていただいた。1回目の開催においては、創立55周年記念式典・祝賀会開催後ということもあり、多くのご支援・ご協力を賜った先輩方への感謝の場を伝える機会と新入会員候補者の情報提供をいただく場とさせていただいた。2回目の開催は、新入会員候補者の情報提供の場とOB会会員と現役会員が楽しく交流できる場として、テーブル対抗のクイズを実施しOB会会員の先輩方に喜んでいただけたと思う。

6. 会員拡大会議

会員拡大会議は各委員会より出向していただき、マンダラーシートを活用し提出いただいた新入会員候補者情報の精査や前年度から引き継いだリストの精査を行った。2ヶ月に1回の割合での開催予定であったが、リスト精査や会員拡大における情報の取り纏めなど会員開発委員会での取り纏めに時間が掛かり2回の開催しか出来なかった。情報収集の期日や取り纏めの期日をしっかりと決めて、日本青年会議所の各種セミナー等を活用し実施すべきであった。

7. 会員拡大及び取りまとめ

マンダラーシートを活用し、現役会員より提出いただいた新入会員候補者リストをもとに情報収集の収集をし、新入会員候補者リストを作成したが、面談実施や現役会員への進捗状況の報告が遅くなり、会員拡大において情報共有することができずに目標拡大数まで至らない結果となってしまった。また、会員拡大マニュアルを作成したがマニュアルに沿った会員拡大を進めることができなかった。会員拡大においては、現役会員全員で取り組むためにも情報共有や会員拡大の意識を高めることの重要性を痛感させられた。また、OB会会員の先輩方への協力依頼においても改めて重要であることを実感した。最後に会員拡

大において、最後の最後までご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

8. その他理事長所信に基づき行う事業

会員開発委員会のメイン事業でもある会員拡大においては、本年度は正会員25名、賛助会員5組以上の目標設定を掲げさせていただいたが、正会員7名、賛助会員0組と目標達成に大幅に届かない結果となってしまった。本年度は昨年度も活用された拡大ツールとしてマンダラーシートを活用し、新たな新入会員候補者の情報提供をいただき、候補者情報の充実を図った。また、OB会会員との交流事業においても多くの候補者情報をいただけた。(公社)郡山青年会議所のメーリングを活用し、情報共有を行ったが、委員会内での取り纏めに時間を要し、情報共有を行うのが遅くなってしまい、現役会員からの協力を得るのが遅くなってしまった。現役会員全員で行う事業であることの重要性や会員拡大の当事者意識の高揚に繋げる環境作りが十分にできなかった。また、委員会内においてもメンバー一人ひとりの意識の相違やモチベーションの相違があり、同じ目標に向かって行動してもらうことの難しさやモチベーションを高く保っていただくことの難しさを実感した。面談においては、情報提供者と一緒に面談を行うことにより不安解消や疑問点などより良いコミュニケーションを取ることができ、候補者に対して、青年会議所について包み隠さず話すことにより、誤解や悪いイメージを払拭することができたと思う。

最後に、会員拡大は今後も継続が必要な事業です。LOM全体として取り組まなければいけない事業でもありますし、現役会員一人ひとりが当事者意識を持ち行動しなければ目標を達成することの難しい事業です。来年入会する新入会員は同じ志を持ったこれからの(公社)郡山青年会議所運動を担う人材になってくれることと思います。1年間会員拡大において御協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。最後の最後までご協力いただき本当にありがとうございました。

2016年度 広報渉外委員会

委員長 高縁 貴彦
副委員長 佐藤 怜
★委員会スローガン

コトバのチカラ ～想像力と創造力～

★ 事業方針

郡山青年会議所は長年、様々な手法を用いて、わがまち郡山に青年会議所運動を発信してきた。一方、変化する時勢の中で、社会は老若男女と言った区分だけでなく、嗜好などによって細分化されるようになった。コトバは、音声であり、文字であり、心を感動させることもあれば、相互理解に繋がることもある。コトバがもたらす効果は数え切れない。しかし、我々は細分化された社会に、適切にコトバを届けられているだろうか。広報渉外委員会の使命は、郡山青年会議所の活動を記録し、現役会員へ浸透させるとともに、内外と連携することで、多くの人々に効果的に伝播することである。そのためには、対象を見定め、想像し、より関心を惹く内容を創造する必要がある。加えて、セキュリティや利便性の観点から情報を適切に管理し、55周年のその先へ引き継ぐ責任がある。

本年度は、幅広い層に興味を持っていただくために、ホームページや広報誌などの各役割を考え、それぞれの媒体に最適な内容とすることで、一人ひとりに対して発信する。ならびに、委員会の誰もが手法を共有し、記録、発信、管理ができるようにすることで、運動の発信者であるという意識を醸成し、発信力を高める。また、委員会同士の連携のみならず外部とも連携することで、発信の輪を広げる。

無数のコトバと無限のチカラを意識し、これらの活動を通して発信し続けることで、輝ける未来を想起できる社会の実現に向けて活動する団体として、多方から共感と理解をいただく。そして、市民からより身近で必要とされる存在となることで、郡山の更なる発展に寄与し、55周年以降の郡山青年会議所の躍進へと繋げる。

★ 事業計画

	〔開催予定月〕
1. 新入会員オリエンテーション並びに 現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）	〔 2月〕
2. 8月例会の企画・運営	〔 8月〕
3. 全国大会への引率	〔10月〕
4. 広報誌発行	〔 1月、5月、8月、12月〕
5. ホームページ作成・運営管理	〔 通年〕
6. メールアドレス・メーリングリストの管理	〔 通年〕
7. LOM事業の取材	〔 通年〕
8. 会員拡大に関する情報収集	〔 通年〕
9. 広報・渉外活動全般（事業PR・名義後援取りまとめ）	〔 通年〕
10. その他理事長所信に基づき行なう事業	〔 通年〕

★ 事業報告

1. 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（室合同）
人間力セミナーでは、石橋秀郎先輩にお越しいただき、第55回全国会員大会郡山大会開催時の理事長としての経験や、日本青年会議所へ副会長として出向された際のお話などを伺い、青年会議所運動がもたらす自身とまちに対しての価値を、魂を込めて伝えていただいた。会議運営サポートセミナーでは、ロバート議事法セミナーを行い、入会5年目未満の会員が半数にのぼる中、2年目以降の会員にとっても、非常に有意義な事業とすることができた。

2. 8月例会の企画・運営

高校教師であり詩人である和合亮一氏を講師に迎え「コトバのチカラ～創造力と想像力～」と題して、安積歴史博物館にて公開講演会を開催した。郡山青年会議所が以前開催していた「高校生心のメッセージ」での外部協力者としての経験や、応募作品の中で特に印象に残っている作品の解説やご自身の作品の解説など、実際の詩の解説を通して、表現の奥深さと魅力をお話しいただいた。広報渉外委員会として、チラシなどのデザインはもちろん、外部団体を含め多くの方々々と連携し、告知活動にも注力した。会場に空調設備がないことや、駐

車場不足など様々な問題はあったが、委員会をはじめ現役会員の皆さまのご協力のおかげで、来場者からはアンケートにて好評をいただくことができた。多くの方々にご協力いただいたことに、改めて感謝申し上げる。

3. 全国大会への引率

今年度は遠地、広島の地で行われた大会にも関わらず、多くの現役会員にご参加いただき、特にご卒業生は半数以上もご参加いただけた。本年度ならではの取り組みとしては、「第二楽章 男鹿和雄展」開催期間中に折られた折り鶴を原爆の子の像へ届けるとともに、第55回全国会員大会郡山大会10周年を本年迎えるにあたり、閉会式と解団式にも参加することで大会設営側の雰囲気を感じることができた。「大会式典 式典の部」では1年間を振り返り、会頭所信にある「強く 優しく しなやかに あらゆる価値の根源となれ！」につながる会頭メッセージを受け取ることができた。「大会式典 卒業式の部」では、屋外にて生憎の雨天での開催となったが、所属の垣根を越えて皆さまにご協力いただいたことにより、無事に引率をすることができた。

4. 広報誌発行

理事長スローガンに基づき、広報におけるデジタル媒体とアナログ媒体が、空と海のように融合することを目指し「HORIZON~未来へ~」と題して、年4回にわたり広報誌を発刊した。手に取った際に読んでみたいと思われるよう誌面レイアウトを意識し、毎号特集枠として記事を掲載し、興味を持っていただけた方にはより詳細な内容へ誘導できるよう、ホームページの紹介や記事ごとのQRコードの掲載などの取り組みを行った。また、地域などによる差分をなくし広く行き渡るよう、配布先においては平準化を意識して選定した。

5. ホームページ作成・運営管理

郡山青年会議所という名称を認知いただかなければ検索すらされない、というインターネット事情を考慮し、SEO対策を意識した上で様々なキーワードで検索結果に表示されるよう、そして郡山青年会議所とはどのような組織であるかを広く発信することを目的として、特別企画記事を毎週水曜日に公開した。広報誌やFacebookとの連携によりアクセス数は上昇し、今まで以上に幅広いキーワードにてホームページを訪れていただいていることが分析された。多くの方々にご協力いただいたことに改めて感謝申し上げます。

6. メールアドレス・メーリングリストの管理

2016年度現役会員向けの各メーリングリストの管理や、事業毎の申込フォームの作成を行った。配信先などに変更があった際には随時対応するとともに、迅速に対応することができた。また、2015年末にサーバー移転にともないメールシステムが変更となったため、それに伴う設定や管理も行った。

7. LOM事業の取材

広報渉外委員会として、議案上程された事業には全て参加し、随時Facebookにて開催の様態を発信するとともに、写真の撮影および記事の作成を行った。記事は後々まで残ることを意識し、改めて振り返ることができるよう、より詳細に記載するよう心がけた。写真は様々な資料の作成等にも使用できるよう、肖像権を意識するとともに、積極的に様々な角度や状況の写真を撮影した。

8. 会員拡大に関する情報収集

ホームページでの会員募集用のページ作成および特別企画にて現役会員へのインタビュー記事の公開、そして広報誌への会員募集要項の掲載など、会員拡大につながる取り組みを実施した。

9. 広報・渉外活動全般（事業PR・名義後援取りまとめ）

ホームページでの特別企画の一環として各事業の担当委員長へインタビュー記事を公開し、一般市民へ事業に対する興味を持っていただけるよう取り組んだ。また、各委員会と連携し、ホームページおよびFacebookにて積極的に事業告知を行った。なお、名義後援の取りまとめは行わず、各委員会に任せることとなった。

10. その他理事長所信に基づき行なう事業

理事長所信にある「発信の輪を広げ」するためには、SNSなどでのシェアによる拡散が必須であり、広く万人向けの記事ではなく、ターゲットと目的を明確に定めることがかえって広く浸透すると考えた。そのため、数種類の特別企画を毎週水曜日に公開し、その数は合計40本にのぼる。また、理事長対談も複数回行い、広報誌では抜粋記事、ホームページでは全文記事を掲載することで、理事長の人的魅力も発信することができたのではないと思う。現役会員へのインタビューも多数行うことで、一人ひとりが運動の発信者であるという意識の輪を広めるとともに、郡山青年会議所がどのような団体であるかを、広く発信することができた。

2016年度 青少年育成委員会

委員長 村上 和洋

副委員長 佐藤 嘉洋

★委員会スローガン

しん し けい しゅう
慎 始 敬 終

～ 元気と笑顔で未来を育む ～

★ 事業方針

かつて郡山の子どもたちは自然・スポーツと多く触れ合うことができたが、近年少子化や東日本大震災による影響でその機会が減少しており、郡山に住まう子どもたちの人口減少に加速がかかっている。一方で様々な困難を乗り越え懸命に生きる子どもたちの存在がある。その子どもたちが郡山で夢や希望を持ち、輝く未来の郡山を担う想いを育成しなければならない。

わんぱく相撲では、事業本来の趣旨である「礼節を学び努力する」ことや「相手に対する思いやり」を持って参加してもらおうと共に、心と身体を鍛え育むため「相撲」という身体と身体でぶつかり合う真剣勝負を介して、勝つことの喜びや負けることの悔しさを通じ健全な青少年へと成長する機会をつくる。

子どもたちに必要なのは、将来への手本となる大人の存在である。子どもたちが社会の様々な経済活動に触れることによって、住んでいる郡山への理解を深め、働いて育ててくれている保護者への感謝の心を育成し、自分の持つ多くの可能性に気づき、未来に向かって今を生きる原動力を身に付けることができるよう事業を実施する。そして家庭・学校・地域社会が、子どもたちと大人のつながりの重要性を認識しあい、連携して子どもたちが未来に向かって歩みだせる事業を展開する。各事業においては、清掃や後片付けまで子どもたちとともに行うことで、責任感を養い自立した精神を育む。

その結果子どもたちが夢や希望に向かって挑戦すること、最後までやりきる大切さを学び、未来へ向かって精進し、郡山の将来を担う人財へと成長してもらうことで、子どもたちに元気と笑顔が溢れ郡山の未来を担う想いを育成する。

★ 事業計画 [開催予定月]

1. 京都会議の引率 [1月]
2. 3月例会の企画・設営 [3月]
3. 「第51回郡山市こどもまつり」への参画 [5月]
4. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所・全国場所への参加引率 [5月～7月]
5. 青少年育成事業の開催 社会体験・自然 [6月～9月]

6. 会員拡大に関する情報収集 [通年]
7. その他理事長所信に基づき行なう事業 [通年]

★ 事業報告

1. 京都会議の引率

本年度最初の遠征事業であったが、非常に多くのメンバーに参加して頂きながら、皆で会頭所信を生で聞き、「強く 優しく しなやかに あらゆる価値の根源となれ！」のローガンのもと、「JCしかできないものはたくさんある。だからこそJCがやらなければいけない」という想いで今年の青年会議所運動を進めるきっかけとなった。新入会員にとっても初の遠征事業を通じ、多くの同士と語らい一体感、親近感を深める事ができ、理事長とのトークナイトを通じてその想いを直に聞く機会となった。

2. 3月例会の企画・設営

3月例会では佐々木祐滋氏をお呼びし、「世界に伝えるサダコものがたり」と題した講演会を行った。郡山の復興についても縁のあった同氏をお招きし、形こそ違えど放射線被害をこうむった少女のお話と、その後の広島県民が被ったことについてお話を聞くことができ、今後の参考になった。また、佐々木禎子さんの折鶴を通じた国際交流や、他者を思いやる心の大切さや平和の尊さについて深く考えることができた。

佐々木氏自身が原爆2世であったことで被った理不尽な扱いなどのお話を聞くことで、今後の郡山の復興へ新しい課題も見つけることができた。講演会開催に向けて男鹿和雄展で来場者に折って頂いた折鶴を千羽鶴にして広島全国大会にて原爆の子像へ捧げ、郡山市民の平和への想いを広島に届けることもできた。

3. 「第51回郡山市こどもまつり」への参画

本年度は恒例の輪投げコーナーに加え、乳幼児向けのよちよちハイハイトライアルやパズル形式の広報ブースの作成、景品もお菓子に加えて郡山JCの周年ロゴ入り風船を作成して参加賞としての配布、郡山青年会議所創立55周年としてのこどもまつりパンフレットへの広告協賛と新しい取り組みを行った。当日の会場は大変盛り上がり、大人も子どもも笑顔で溢れていた。来場した乳児から小学生を中心とした子どもたちに元気に活動してもらうことができ、その姿を見た保護者たちにも喜んでもらうことで郡山に元気と笑顔の輪を広めることもできた。

今年は郡山市の新しい取り組みでこどもまつりパンフレットに企業協賛を入れたが、郡山青年会議所でも55周年のPRロゴを協賛した。市内関係各所及び小中学生へ合計4万枚を配布し、郡山青年会議所を広く告知することができた。

4. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック場所・全国場所への参加引率

本年度も郡山相撲協会の皆様と協力をしてこおりやま場所を開催し、多くのわんぱく力士たちがエントリーをしてくれた。身体と身体でぶつかり合う真剣勝負を介して健康の増進はもとより心身の鍛錬と、勝つことの喜びと負けることの悔しさを通じて健全な青少年の育成ができた。今回は地元の企業による協賛もあり地域での子育てについて広めることもでき、ちゃんこの振る舞いにおいても「ありがとう」の言葉が素直に聞かれ、また終了後にごみ拾いを予定していたか選手各個人が率先して会場の美化に努めておりその必要がない程であり、会場への感謝の心を感じ取ることができた。

ブロックでの大会でも4名が勝ち残りわんぱく相撲全国大会に郡山から福島県代表として参加することができた。全国大会においては東京青年会議所より打診もあり、LOMとして全国大会の運営にも係ることができ、日本のキャピタルLOM開催事業に携わり新たな気づきと学びを得ることもできた。特に子どもたちの手本となるのは身近な大人たちであると感じ、自分たち自身も常に手本でありつづけなければならないと思うことができた。

全体として国技である相撲を通じて日本伝統の礼節を身に着けるとともに、勝負の機微に触れることにより、心身の鍛錬や人を思いやる気持ちを育む機会として、子どもも大人も意義の深い場となった。

5. スマイルサマーキャンプ～郡山ワクワクお仕事見学～開催

ここ数年郡山青年会議所で実施しているキャンプ事業であるが、その参加者たちが満足して怪我もなく帰宅している実績と信頼のおかげか、チラシ配布1週間で定員が埋まるという絶好調のスタートで事業を始めることができた。しかし事前説明会では参加者全員の出席とはならず、参加の必要性や内容についてと参加者に伝えることができなかったが、説明会へ参加した子どもたちは自己紹介やアトラクションでうまく交流を図ることができた。キャンプ前日の自分宛てに書いた手紙にもその期待が読み取れ、事前説明会を開催した意義を感じ取れた。

キャンプ当日は朝こそ雨に降られたが開成山野球場職員の御好意もあり屋内で受付や開会のあいさつなどができた。その後は天候も回復し自衛隊・ワイナリー見学と滞りなくスケジュールをこなすことができた。ワイナリーや自衛隊、地元のお米の精米工場を見学することによって郡山への愛郷心や勤労する大人たちへの敬愛の気持ちを醸成することができた。キャンプ参加1カ月後の自分への手紙においてもそのことについて書かれており、特に普段見学のできない自衛隊郡山駐屯地での体験は特に印象的であったようである。関係各所へも「地域への子育て」という事について新たな気づきの機会を作ることもでき、また委員会としても一丸となって設営をする機会となった。事業を通じて子どもも参加したメンバーも、郡山の自然の魅力や産業を学び、愛郷心を育成し新しい未来を創る立場となる次世代の心を育成することができた。子どもたちは保護者の元を離れ、同年代の仲間たちと共同生活や団体生活を体験することにより自主性やコミュニケーション能力、協調性、友情、共に力を合わせることの尊さを学んでもらうことができた。自然と触れ合って元気に活動する

子どもたちと同じ目線で現役メンバーと一緒に体験することにより新しい視点で郡山の自然の魅力や産業を再認識することができた上、設営にあたり御協力頂いた関係各団体との信頼関係も築くことのできた事業となった。

5. 『みんなでわくわく！こおりやま みらい☆シティ』の開催

「こおりやま みらい☆シティ」開催に際して、事前に出展企業・団体の募集を行ったところ予定以上の応募申し込みがあり、何としても本事業を大成功にしなければならないと委員会メンバー一同が覚悟を持って臨んだ事業であった。小中学生の参加者募集を開始しても連日30名以上申し込みがあり、市民の皆様方からの期待を感じとりながら出展団体との打ち合わせ、関係各所との折衝などの業務をこなしていたが委員会メンバーが嬉々として対応していたことが本事業の成功の一因だったと考える。

共に事業を作り上げた出展団体においても、「打ち合わせや準備・当日の運営で各団体それぞれの絆が深まり一体感が出た」とのお話や、「当日の子どもたちの笑顔が何よりの報酬だった」、「地域に貢献できている充実感があった」などの話を聞き、出展していただいた成果も感じ取ることができた。事業開催後も出展団体の皆様と交流を維持することができていることから青年会議所運動への理解が得られている実感がある。このことはこれからの郡山青年会議所の財産として残るものだと確信をしている。

当日参加した子どもたちアンケートや後日談の話も関係各所から聞いているが、概ね好評な意見を頂いており、またそれぞれが、こおりやま、地域の企業に対して愛着を醸成することができた。地元テレビ局の取材などもあり、郡山青年会議所創立55周年記念事業としてしっかりとした事業の手ごたえを感じている。今回この様に大規模な事業を開催することをできたのは出展関係者のおかげもあるが、何よりも郡山青年会議所現役メンバーのお力添えがあってこそその結果であると考えます。

本事業を通じて子どもたちは、社会の様々な経済活動を経験することにより住んでいる地域社会への理解を深め、保護者の勤労への感謝の心を育成し自らの持つ多くの可能性に気づき未来に向かって今を生きる原動力を身に付けることができた。参加協力した地域の企業・団体も事業参加を通じて、自らの経済活動や振る舞いが子どもたちの手本となることに気づきを得ていただく。共に協力し合あうことで世代を超えたコミュニケーションを得る機会とし相互理解を深めることができた。郡山青年会議所としても地域の企業・団体と事業を行うことで、今後の青年会議所運動がより円滑に行える足がかりとすることができた事業となった。

6. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大会議に武田淳委員が参加して候補者の情報共有を行った。会員拡大に於いて、当委員会のメンバーが事業で生き活きと活動すること、笑顔で市民の皆様と接することがより良い郡山青年会議所のイメージとなり、同志の拡大につながると信じて一年間活動して

きた。特に事業で青年会議所と今まで関わりの無い企業団体を訪問するときには、青年会議所活動の意義ややりがいを感じながらやっていることを前面に出して打ち合わせを行ってきた。街の為に頑張る姿を見た市民の皆様の中からこれからの同志が募っていただけると確信をしている。

7. その他理事長所信に基づき行なう事業

「第二楽章 男鹿和雄展」に於いては震災から5年を迎える時期に男鹿和雄氏の絵を通して多くの方々の故郷を想う機会の場とし、福島子どもたちや学生との交流を通して福島を忘れない、震災をなかったことにしないという思いを次世代に伝え、さらなる復興へとつなげることができた。また、「第二楽章 男鹿和雄展」に多くの人に足を運んでもらい、郡山青年会議所の運動を全国に発信することができた。

「吉永小百合・男鹿和雄 交流会」についても富岡町、川内村から避難している仮設住宅に住む人たちに、吉永小百合氏や男鹿和雄氏と交流を深める場を提供し、日頃のご苦労を癒やしてもらおうと共に福島県で起きた災害と事故を改めて考える機会とすることができた。また、来場者に対して郡山青年会議所の活動に関心を持ってもらい、広く情報を発信していく機会とすることができた。そして、本事業での経験を活かし、今後の半世紀に向けて邁進するための契機とすることができた。

最後に「慎始敬終 ～ 元氣と笑顔で未来を育む ～」のスローガンの通りに委員会メンバー一丸となって、年度初めより最後までしっかりと走り抜けることができた。子どもたちの笑顔が街の元氣となるためには、設営に当たる自分たちが笑顔でないと信じて、常にメンバーが笑顔で対応をしてきた。毎事業必ず例年とは違う新しいことを1つでも織り込んで行こうとする委員会のメンバーに助けられながらの一年間であり、とにかく前に進もうとする私を常に支え続けてくれたメンバーには本当に感謝の想いだけである。またそんな新しい取り組みを実行するにあたり、郡山青年会議所のメンバーのお手伝いを全力でいただいたおかげで、大きな事故や失態もなくすべての事業を大成功で終えることができた。ご支援ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

2016年度 教育開発委員会

委員長 芝田 銀平

副委員長 柳沼 克郎

★委員会スローガン

希望の轍

～ともに希望を語り、次世代の心を創造する～

★事業方針

我々が住む郡山の教育現場では自分のために成績や評価を上げることばかりが注視され、生命を大切に作る心、相手を思いやる心、善悪の判断など、最も大切である道徳心の教育が希薄化している。その結果、個人の規範意識や人間関係力の低下を招き、いじめや暴力、引きこもりなど様々な社会的問題が噴出している。また、震災から5年が経過した現在でも原発事故による風評被害が続いている。一部には将来の夢や希望の実現について不安を感じる子どもたちがおり、真の復興には心の復興が不可欠である。

そこで我々教育開発委員会として、子どもたちに対し様々な体験を通じて道徳心を育む事業を展開していく。感謝する心、約束を守る心などの道徳心の醸成がより人間関係を円滑化し、夢や希望の実現に近づくということを伝え、教えていく。また、55年の歴史を持つ文学賞を主催するLOMとして、文学の道を志し、夢や希望を語る子どもたちに対してその未来を実現させるための事業を行う。

その体験を通して子どもたちが夢や希望の実現に向けた意識を向上させ、相手を思う優しさ、さらにはともに暮らす人々を愛し、その人々のために地域を変えていこうとするたくましさを兼ね備えた大人へと成長し、次なる世代の“郡山の未来”を創造する原動力となり真の復興を成し遂げることができる。

★事業計画〔開催予定月〕

- | | | |
|----|-------------------|----------|
| 1. | 第55回「久米賞・百合子賞」 | 〔2月～11月〕 |
| 2. | 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参 | 〔2月～3月〕 |
| 3. | 7月例会の企画運営 | 〔7月〕 |
| 4. | 教育開発事業の開催 | 〔6月～8月〕 |
| 5. | ブロック大会引率 | 〔7月〕 |
| 6. | 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 7. | その他理事長所信に基づき行なう事業 | 〔通年〕 |

★ 事業報告

1. 第55回「久米賞・百合子賞」

本年度の応募総数は昨年を下回り92作品となったが、質の高い作品が多く、百合子賞正賞に2名選出することができた。本年は第55回という記念すべき回であったため、「久米賞・百合子賞」を大いに盛り上げていきたい、そんな思いから作品の応募数の増加はもちろん、作品の質を高めるために7月に、ショートショート作家の田丸雅智先生をお招きし、「誰でも”必ず小説が書ける！超ショートショート講座」と題し、小説の創作ワークショップを行った。11月に行われた授賞式では「久米賞・百合子賞」に応募し努力した中学生たちの健闘を称えることで青少年の文学の芽を育み、地域教育の推進につなげることができた。また同日開催された記念講演会においては喜多川氏にご講演いただくことで、青少年を中心とした一般市民に読書の大切さを伝え、郷土の文化振興につなげた。しかしながら、事業を通して事前の準備不足、想定不足があった。この反省を次年度に引き継ぎ、「久米賞・百合子賞」のさらなる継承発展につなげていきたい。

2. 久米正雄先生・宮本百合子先生墓参

勉強会に関しては本年度「久米賞・百合子賞」が55周年を迎えるにあたり事前に久米正雄先生の「父の死」、宮本百合子先生の「貧しき人々の群れ」をメンバーに読んでいただき、勉強会に臨んだことで例年以上に実りのある勉強会となった。墓参に関しては例年と違う時期での開催となったが大きな問題なく終えることができた。

3. 7月例会の企画運営

ショートショート作家の田丸雅智先生をお招きし、「誰でも”必ず小説が書ける！超ショートショート講座」と題し、小説の創作ワークショップを行った。身近な名詞から様々な想像を膨らませ、それを整理し組み立てていくことで小説を作るための発想力を育んだ。7月例会並びに田丸雅智氏ワークショップでの作品を作っている中学生の笑顔を見ることができ、小説を考える楽しさ、書く楽しさを伝えることができた。中学1年生、2年生に多く参加いただけたことや質疑応答時の積極的な行動から本年さらには未来の久米賞・百合子賞のさらなる発展につながった。

4. 教育開発事業の開催

「ワクワクキッズチャレンジ～知恵を振り絞れ！みんなが引き出すチームの力～」は本年の当委員会の事業方針である様々な体験を通じて道徳心を育む事業として行った。道徳の授業を考えたとき自分自身は座学のイメージが強く、先生に教えられるものと考えていた。だからこそ座学ではなく体験を通して子どもたちに楽しみながら道徳心を学ばせたいと本事業を行った。子どもたちが楽しく課題に取り組み、それぞれが声を掛け合い全員で一つの

課題に挑戦したことで子どもたちが誰かに教えられるわけではなく自ら相手のことを考えて動き、相手を思いやる心を育成することができた。

5. ブロック大会引率

本年は「明日へかけだそう！笑顔が咲き誇る『ふくしまへ』」のスローガンのもと、県内19LOMが一堂に集まり、多くのメンバーで参加することでブロック協議会の友情と絆を深め、ブロック協議会へ出向しているメンバーを支援することができた。また、成田次年度ブロック会長予定者を、多くのメンバーで送り出すことができた。「日本一のブロック大会にする」という言葉通り、東国原様をお招きして行われたメインフォーラムはこれから私達が行っていくまちづくり活動の大変貴重な学びとなった。

6. 会員拡大に関する情報収集

会員拡大会議に阿部哲委員、本名創委員が参加して候補者の情報共有を行った。また、会員拡大において経験豊富な阿久津圭亮委員にも参加を依頼し、2名の委員での参加を行った。会員拡大に於いて、マンダラシートを記載して積極的に情報収集を行い、会員候補者の情報提供を行った。「久米賞・百合子賞」各事業や田丸雅智氏ワークショップ、ワクワクキッズチャレンジで郡山青年会議所のPRを合わせて行い、郡山青年会議所の活動を一般の方々にもっと知っていただき、会員拡大につながるように努めた。

7. その他理事長所信に基づき行なう事業

震災後丸5年を迎える節目の年に、当時避難所として機能したビッグパレットふくしまにおいて展示会を開催し、その展示会を通じて今一度福島の「今」を考え、震災を風化させないためのメッセージを次世代に伝えるために男鹿和雄展を行った。来場者が富岡の絵の前で涙する姿を見て故郷を想う場にしたと確信している。開催期間中に行われた男鹿和雄氏・吉永小百合氏による富岡町民・川内村民との交流会の様子が全国に発信され、郡山青年会議所の運動を多くの人々に発信できたことが大きな成果であった。また、本事業は福島ブロック協議会からもご支援・ご協力を賜り、福島県内の会員会議所内のメンバーと交流を深める場にした。3週間の長期間に渡り、準備・設営に多くのメンバーにご協力いただき、また多くのOBの先輩方やメンバーにご参会を賜り誠に感謝申し上げます。準備期間が短いなか多くのメンバーの皆様のお力添えがあり実現できた事業であった。

最後に、「希望の轍～ともに希望を語り、次世代の心を創造する～」のスローガンのもと一年間を終えることができた。本年は体験を通して子どもたちの夢や希望の実現に向けた意識を向上させる事業を行った。事業に参加する子どもたちが座学ではなく書き方教室やイニシアティブゲーム等の体験を通して学ぶことで誰かに教えられるのではなく、自ら考え、気づくことで、より大きな学びになると考え、一年間事業を展開した。これら一連の事

業を通して郡山の子どもたちを書くことの楽しさや思いやりの大切さを伝えることができ、「久米賞・百合子賞」の発展、子どもたちの成長につなげ、このまちのさらなる発展につなげることができたと実感している。多くの関係者を巻き込んだ本年の事業であったが、皆様からは多大なるご支援ご協力いただき心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

2016年度 まちづくり特別 委員会

委員長 増子 則満
副委員長 葛西 秀一郎
太田 善雄

★委員会スローガン

未 来 へ ！

～過去と現在を視つめ考え繋いでいく～

★事業方針

私たちのまちである郡山は、街道が整備されて以降、宿場町の機能を中心に流通の拠点として人が集まり安積開拓により得たまちの基盤と交通の要衝という地の利を活かし、商工業を中心とした経済都市に発展した。その一方で、音楽を中心としたまちづくりの輪が広がり、郡山は、音楽都市を宣言、その文化を育んできた。

「歴史・伝統・文化・気候」の素晴らしい風土が受け継がれ、駅前を中心に発展してきたこのまちも、時代の移り変わりとともに人の流れが変化し、個人のライフスタイルの変化や郊外型大型商業施設の台頭により人が集える場所が分散してしまった。また、東日本大震災以降、復興という目標を持ち、市外から多くの人と企業が入ってきている中、これを終えてからの地域経済の衰退と人口減少時代における地域社会の在り方が懸念されている。

この歴史ある郡山において、私たちは、多くの先輩方がその世代ごとの世相を反映し取り組んできたまちづくり事業を検証し、現在の郡山の現状を視つめ、同じ地域に住まう多くの人と共に、新たに人が集える場所の在り方を考える。そのために多岐にわたる地域、行政と連携し、現在に即した形で人が集うまちづくり事業を行う。そして、郡山が主要経済都市として栄えていくためにも私たち青年経済人がその在り方を学び、考え、率先して行動していかなければならない。そのための事業として、地域経済や地域社会のために先頭に立って活躍している方から学ぶ機会を設け、これから私たちが困難な道を進む上で大切な気づきやきっかけをつかむ。私たちは、これらの地域活性化事業を行い、人が集い、人に愛される、活力あるまちづくりを実現するために力を合わせて行動する新たな機運を未来へ繋げていく。

★事業計画

〔開催予定月〕

- | | | |
|----------------------|---|--------|
| 1. 2月例会 | [| 2月] |
| 2. 市内清掃活動 | [| 6・10月] |
| 3. サマーコンファレンス引率 | [| 7月] |
| 4. 風土フェスティバル | [| 10月] |
| 5. 10月例会 | [| 10月] |
| 6. 会員拡大に関する情報収集 | [| 通年] |
| 7. その他理事長所信に基づき行なう事業 | [| 通年] |

★ 事業報告

1. 2016年度 2月例会開催並びに郡山の未来創造パネルディスカッション開催

福島大学 人間発達文化学類 スポーツ・芸術創造専攻教授、渡辺晃一氏をコーディネーターとしてお招きしパネリストとして、青木誠理事長・高橋晃浩氏・小暮美帆氏に参加していただき「こおりやまの魅力発見」・「歴史・文化・芸術で攻める」・「今こそ試される！郡山のまちづくり」をテーマに掲げパネルディスカッションを開催した。10月に開催する事業へ向け新たな郡山のまちづくりを発展と発信をしていくために多くの気づきを得る事ができました。しかし、一般市民の集客などの反省点など今後の事業で確実に実施していかなければならない事項に気付かされる事業となった。

2. 6月市民総ぐるみクリーンこおりやま運動

今回は郡山駅前西口広場を集合とし、例年にない形でのルート分けをして開始となった。アーケード方面においては前日の賑わいが伺えるほどゴミが多く落ちていた特に煙草のポイ捨てが非常に目立った。早朝より多くのメンバーに参加していただきまちの美化に貢献することができた。身近な清掃活動はすぐにできるまちづくりの一つであり、安心して暮らせる綺麗なまちづくりとして改めて重要であると感じた。ま

3. 2016年度サマーコンファレンス引率

サマーコンファレンスのテーマであるアウフヘーベンを題材に新しい切り口からの各界を代表する有識者の方々による様々なセミナー・フォーラムを受講することができ、今年度のJC運動や自己研鑽に繋げることができた。また、皆様のご協力により大きな事故もなく引率する事が出来た。日本JC出向者の方々の活躍の姿を見る事でメンバーの意識向上に繋がったのではないかと感じました、出向者の支援にもつなげられた。

4. 10月例会並びに中川悠介氏講演会開催

中川悠介氏をお招きしての講演会を開催した。様々なコンテンツと融合と外部から受信する情報と内部から発信する情報の両面から見た経済の更なる活性化をするための新たな手法を学ぶ場にてきたと感じている。また、多くの市民の方々、行政や各団体の方々にも参

加いただいた講演会となった。特に参加した理由に関して口コミや繋がりによる参加が非常に多く今後の事業で一般参加者の来場に繋げるための学びの場になったと感じている。当日の設営等で多々至らない点や不備に関して反省し次年度への事業に生かしていきたいと思う。

5. 五感で楽しむこおりやま風土フェスタ2016開催

今回の事業を開催するに当たり青年会議所メンバーの皆様並びに出店者・出演者の皆様のご協力により当日の天候にも恵まれ多くの市民の皆様のご来場に繋げる事ができた。地域活性化を促進させるために郡山の風土を五感で楽しんでいただき、楽しんだ記憶によりまちを愛する人々を増やしていくために協力いただいた皆様の力を集約する事に繋げ活気溢れるまちとしていくための事業が開催できたと感じている。上程時の遅れによる告知期間が予定通り取ることができない事など委員長としての至らなさを為し理事メンバーの皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。多くの皆様に支えられご協力いただき感謝申し上げます。

6. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動

例年とは違う設えとして上記、五感で楽しむこおりやま風土フェスタ2016終了後に開催した。夕方方の時間でもあり多くの市民の皆様の前で事業を開催する事が出来郡山青年会議所の活動・運動を発信する事が出来たと感じている。また、日中開催した事業での参加者にもご参加いただき我がまちの為に貢献する事が出来た